

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|--|---|------------------|----------------|-------------------|
| 介護総合演習 I Care Practice Support I | | 1年 | 前期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 1単位 | 演習 | 選択 | (介護福祉士養成課程 必修) | 介護福祉士養成課程の学生のみ履修可 |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| 久保 由佳 | 福祉棟2F | 月～金 (授業時間を除く) | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| 介護実習に必要な基本的な専門知識について学び、施設生活や在宅生活の流れの中で、利用者を実践的に捉え理解する。また、各授業で学習している知識・技術を具体的かつ実際的に結びつけ、介護の場の理解につなげる。さらに、記録することの意義と必要性を理解し、具体的な記録方法について学ぶ。 | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| ①介護実習の意義、目的、内容を説明でき、実習がイメージできるようにする。 ②実習先となる施設のサービス内容や利用者像を述べられるようにする。 ③実習生および援助者としての心構えができ、マナーのある行動ができるようにする。 ④実習記録の意義と目的を説明でき、適切に記録ができるようにする。 ⑤各授業で学習した内容を関連づけながら、基礎実習 I に向けた自己の目標や課題を明確にできるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| 講義・演習・視聴覚教材の視聴・グループワーク・指定図書の見学等、多様な授業形態である。 実習記録については演習と個別指導を取り入れる。 | | | | |
| 学習の成果 (学習成果) | | | | |
| 他科目での学習内容を復習しながら、社会的マナーを含めた介護実習に必要な基本的知識を習得し、実習に向けた事前学習(準備)をすることができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス (授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 見学実習 (介護老人福祉施設「大栗の里」) 後のグループワーク 【レポート1: 見学実習で学んだことおよび感想、提出は次回授業時。】 | | | |
| 第2回目 | 見学実習 (介護老人福祉施設「大栗の里」) の発表・まとめ | | | |
| 第3回目 | 介護実習の意義と目的、視聴覚教材による介護実習の理解 【レポート2: VTRを視聴した感想・学び、提出は次回授業時。】 | | | |
| 第4回目 | 実習の準備 (実習形態と方法、実習の流れ、必要書類、オリエンテーション等)、「介護実習の手引き」配布 【レポート3: 「介護っていいなあ!」を講読した感想・学び、提出は第6回目の授業時。】 | | | |
| 第5回目 | 実習先施設の理解① 指定介護老人福祉施設を中心とした生活の場の理解 | | | |
| 第6回目 | 実習先施設の理解② 介護老人保健施設、通所施設、障害者支援施設等 【レポート4: 対比表の作成、提出は第12回目の授業時。】 | | | |

| | |
|-------|--|
| 第7回目 | 基礎実習Ⅰの準備（実習先希望調査票配布、施設情報一覧の見方） |
| 第8回目 | 実習時のマナー① 身だしなみ・言葉遣い等（社会的マナー含む） |
| 第9回目 | 実習時のマナー② 「ほう・れん・そう・かく」、電話のかけ方 |
| 第10回目 | 実習時のマナー③ 御礼状の書き方 基礎実習Ⅰの準備（実習関係書類の書き方） |
| 第11回目 | 実習記録① 記録の必要性とその方法（「実習の手引き」に沿って説明） |
| 第12回目 | 実習記録② 具体的な記録の方法 基礎実習Ⅰの準備（誓約書記入、「課題と抱負」用紙配布・説明） |
| 第13回目 | 実習記録③ 実習日誌の記録方法 【レポート5：実習日誌の書き方演習、提出期限は授業で指示する。】 |
| 第14回目 | 実習記録④ 実習日誌の書き方（個別指導） 基礎実習Ⅰの準備（検便容器配布・説明） |
| 第15回目 | 基礎実習Ⅰの準備（実習記録一式配布）、授業のまとめ *基礎実習Ⅰオリエンテーションおよび反省会は別日程にて実施 |
| | |

成績評価の方法と基準

| 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
|------------|-----|--|
| 授業参加態度 | 30% | S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことをノートにとっている。③課題等の提出期限を守っている。④グループワーク時は他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。 |
| レポート | 30% | 第1回、第3回、第4回目にレポートを課す。Sのレポートは、課題のテーマに沿って学び・気づきが具体的に記述されていること。自分の考えがまとめられていること。 |
| 調査報告書 | 20% | 指定介護老人福祉施設と介護老人保健施設の相違点等を調べ、対比して表にまとめる。S評価は、対比ができていること。調べた内容が分かりやすく記載されていること。詳細は第6回目の授業で説明する。 |
| 小テスト | | |
| 試験 | | |
| 発表内容（態度含む） | | |
| その他 | 20% | 目標を立てた上で、指定された一日を実習日誌に記録する(第13回目)。S評価は、①書き方に沿って記録できている。②一日を振り返り、学びが記述できている。③文字の大きさや字間等、見やすい記録である。 |

教科書と参考図書

新・介護福祉士養成講座 第10巻「介護総合演習・介護実習」中央法規出版
福祉小六法
介護実習の手引き

履修上の留意点・ルール

他科目と関連させながら、介護実習のイメージを具体化し、現場の理解に努めてほしい。実習関係書類は提出期限を厳守すること。「介護実習の手引き」は毎回持参すること。飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合には、速やかに届け出を提出すること。